

2026年3月13日
小林クリエイト株式会社

【第二報】【お詫びと訂正】障害の原因調査結果および業務復旧に関するお知らせ

平素より弊社サービスをご利用いただき、厚く御礼申し上げます。

2026年3月13日に公表いたしました、弊社システムへの不正アクセス（サイバー攻撃）の疑いに関する事案につきまして、その後の詳細な調査の結果、原因は外部からの攻撃ではなく、プログラムの誤作動によるものであることが判明いたしました。

お客様および関係者の皆様には、多大なるご心配とご不便をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

1. 経緯および原因の特定

日時	状況
3月12日(木) 11:50	業務部門より、情報セキュリティ担当者に「データの意図しない削除」「バックアップデータの消失」「ファイル名称の書き換え」が起きたことが報告される
同日 12:00	不正アクセス対策本部を設置
同日 13:00	データ加工処理センター（中部 C、東京 C）の社外、拠点間、データセンターのネットワークを切断 事象が確認されたサーバをネットワークから切断 データ処理、印刷処理など全ての生産活動を停止
同日 14:00	小林クリエイト九州の社外、拠点間（中部 C、東京 C）、データセンターのネットワークを切断 本社事務用ネットワークと拠点間（中部 C、東京 C）小林クリエイト九州のネットワークを切断
同日 14:00	外部機関と Web 会議にて状況を共有
同日 15:05	データ加工業務の継続のため、事業継続チームを設置
同日 15:40	外部機関より弊社にフォレンジック調査のための保全手順の指示あり
同日 18:45	P マーク認証機関、個人情報保護委員会に報告書を提出
同日 22:00	外部専門家と Web 会議を実施 事象の情報共有と今後の方針について共有 対象仮想サーバが搭載された VMWare をネットワークから切断
同日 23:00	外部専門家と協力しログ調査の開始

3月13日（金）8:35	弊社ホームページ上に案内文書を掲載
同日 9:00	ログ解析により異常な振舞いをするプログラムを発見
同日 16:00	同様の事象の再現を確認
同日 17:00	ログの解析結果、不具合の再現により当事象は外部からの攻撃ではなく、プログラムの誤作動であることが特定された

2. 調査結果

ログ解析の結果より外部からの侵入及び外部への流出は確認されませんでした。

加えて、異常な振舞いをするプログラムの動作検証を行った結果、最初に発見された「データの意図しない削除」「バックアップデータの消失」「ファイル名称の書き換え」が再現できました。

以上より、今回の不具合は外部からの攻撃によるものではなくプログラムの誤作動であると結論付けました。

これに伴い、お客様の個人情報外部へ流出した事実はございませんでした。

3. 業務復旧について

お客様各位におかれましては多大なるご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。今回の結論から弊社といたしましては、完全復旧に向けて早急な準備に着手します。

業務再開までお待ちいただくことを重ねてお詫び申し上げます。